



2008年 11月9日、名古屋市露橋スポーツセンターにて、第四十回オープントーナメント全日本空手道選手権大会が行われた。

全国から41名の選手が一堂に集い、日本一を決める。

この大会に、南足柄市空手部（極真連合会 極真神奈川）から、本多忠相（23歳・初段）と瀬戸利嗣（20歳・初段）が出場することになった。

高校時代、全国選手権大会レベルで幾度となく優勝を飾り全国に勇名を馳せた二人だが、一般部での全国大会出場は今回が初めてである。

以下、大会の様様。

本多忠相（23歳・初段）
一回戦



瀬戸利嗣（20歳・初段）
一回戦、二回戦



夏季合同合宿にて

東京・千葉の道場生を招いて、合同で合宿を行った。

場所は山北町丹沢湖畔である。



審判講習会にて

各地から有段者が集まり、公正な審判が行えるよう講演会を開いた。

